

船橋に備え置いてください!

津港の地域的情報（参考）

1. 津港の気象・海象の特性

津港は、東側に開けた港であることから、北東～南東風の影響を受けやすく、台風接近時には、伊良湖水道方面からのうねりの影響も受けやすい。

2. 津港の港外避難等に関する勧告基準

(1) 避難準備勧告

発出時期: 荒天準備の必要があると認められるとき、強風域がかかる前に時間的余裕をもって発令する。

勧告内容: 在港船舶は、荒天準備をなし、必要に応じて直ちに運航できるよう準備すること。
建造係留中の船舶は、厳重な安全措置ができるよう準備すること。
次の事項を遵守すること。

- ・国際VHF16chを常時聴取すること。
- ・レーダー及びAISにより自船の錨泊位置を監視すること。
- ・台風情報、気象海象情報に留意すること。等

(2) 避難勧告

発出時期: 避難の必要があると認められるとき、強風域がかかる前に時間的余裕をもって発令する。

勧告内容: 船舶は、速やかに港外の安全な海域へ若しくは港内の安全な場所へ避難すること。
建造係留中の船舶は、厳重な安全対策をとること。
次の事項を遵守すること。

- ・国際VHF16chを常時聴取すること。
- ・走錨防止のため、レーダー及びAISにより自船の位置を連続監視すること。
- ・機関はスタンバイ状態とし、直ちに運航できる体制を保持すること。
- ・最新の台風情報、気象海象状況及びその突然の変化にさらに注意すること。等

3. 伊勢湾海上交通センターによる走錨監視及び情報提供

海上台風警報又は海上暴風警報若しくは伊良湖岬等において、風速25m/s以上の風が継続している場合にAIS搭載船の位置を監視し、走錨している可能性がある船舶には、VHFにより情報提供を実施しています。

4. 走錨が発生しやすい海域


大型船の避泊場所として利用されている津港沖から伊勢湾中央部にかけては、過去に大型船の走錨事故が発生しています。

緊急連絡先

○四日市海上保安部／四日市港長:(電話)059-357-1741

○伊勢湾海上交通センター : (電話)0531-34-2443
(VHF)16ch又は13ch「いせわんマーチス」

○海上保安庁 : (電話)118番
(VHF)16ch又は12ch「なごやほあん」

 最寄りの海上保安部署や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。